



内閣府

平成30年6月1日
～美ら島の未来を拓く～
沖縄総合事務局

「不正改造車を排除する運動」の強化月間（6月） ～不正改造は犯罪です！～

自動車は、生活に欠かせない移動手段となっているのみならず、娯楽の道具としても認識されており、様々な部品等が販売されています。

しかしながら、灯火の色が不適切なものや回転・点滅灯等の取り付け、運転者席・助手席の窓ガラスへの着色フィルムの貼付け、タイヤ・ホイールの車体（フェンダー）外へのはみ出し、基準外ウィング（エア・スポイラ）の取り付け、マフラーの切断・取り外し又は基準不適合マフラーの装着等の不正改造を施された車両が存在し、国民生活の安全・安心を脅かしていることが問題となっております。

これら不正改造については、改造を実施すること、改造された自動車を走行させることの両方が法律により禁じられており、これに違反すると整備命令の交付を受けたり、罰金等の対象となることとなります。

沖縄総合事務局では、これら不正改造を排除し、車両の安全確保及び環境保全を図るため、沖縄県警察本部、独立行政法人自動車技術総合機構、軽自動車検査協会、関係機関及び関係団体と協力して、「不正改造車を排除する運動」を展開し、特に6月を強化月間として重点的な取組を行います。

1. 期間

平成30年6月1日（金）～平成30年6月30日（土）

2. 主な実施事項

- イ. ポスターの掲示、チラシの配布等による啓発・周知活動
- ロ. 沖縄県警察本部、独立行政法人自動車技術総合機構、軽自動車検査協会、関係機関及び関係団体の協力を得ながら街頭検査を実施
- ハ. 「不正改造車・黒煙110番」の設置

<https://www.mlit.go.jp/jidosha/anzen/02altered/call110.html>

※不正改造車及び迷惑黒煙車に関する情報をお寄せ下さい。

TEL 098-875-0300（内閣府沖縄総合事務局陸運事務所整備部門）

＜違法マフラー排除チラシ＞



＜街頭検査の様様＞



【問い合わせ先】




内閣府沖縄総合事務局
運輸部車両安全課 杉本 伊波
TEL 098-866-0031（内線 85449）

「知らなかった」では済まされません。



- 
- ※色の判断については、点灯状態を見て判断します。

- 

- 

-
- A close-up photograph showing the front of a blue car and the front wheel of a bicycle. A red dashed rectangular box is drawn around the point where the bicycle tire is in contact with the car's body, specifically near the headlight assembly.

-
- A blue truck is shown from a side-rear perspective. A large blue container is mounted on its back. Red dashed lines outline the container and the truck's chassis. Label 'A' is at the top right of the container, 'B' is at the bottom left of the container, and 'C' is at the bottom left of the chassis.

-

-

-
- 不正改造例

不正改造例

STOP!
THE
不正改造

迷惑千万!!
許さない!!

**6カ月以下の懲役又は
30万円以下の罰金**

推進／国土交通省、不正改造防止推進協議会 後援／内閣府、警察庁、農林水産省、経済産業省、環境省 協力／独立行政法人自動車技術総合機構、軽自動車検査協会

(一社)日本自動車整備振興会連合会、日本自動車車体整備協同組合連合会、全国自動車電装品整備商工組合連合会、全国タイヤ商工組合連合会、(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)日本中古自動車販売協会連合会、日本自動車輸入組合、(一社)日本自動車工業会、(一社)日本自動車部品工業会、(一社)日本自動車部品工業会、(公社)日本タイヤ協会、(公社)日本オートランプ協会、(一社)全日本ハイパー・ターボ連合会、(一社)日本経団連会連合会、全日本自動車整備振興会連合会、(一社)日本自動車タイヤ協会、(一社)全国自動車部品協会連合会、(一社)全日本自動車部品工業会、(公社)日本自動車工業会、(一社)自動車輸送機器情報協会、(一社)日本自動車労働会連合会、(一社)日本車体部品支店協会、(一社)日本自動車部品販売協会連合会、全日本自動車整備組合連合会、(一社)自動車用品の小売業協会、カウイング・フィルム工業会、日本自動車スポーツマフラー協会、(一社)日本自動車用品・部品・アクセサリー組合連合会、(一社)全国二輪車用品連合会、全日本自動車工業会、整備専門学校協会、全日本自動車専門学校協会、全日本オートバイ協会連合会連合会、

不正改造車
・黒煙
110番

四 国 運 輸 局 **087-802-6783**
 九 州 運 輸 局 **092-472-2537**
 沖 縄 総 合 事 務 局 **098-866-1837**

<http://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha/tenkenseibi/huseikaizou/h2/h2-3/> 携帯、スマートフォンの方はコチラから→



www.tenken-seibi.com



不正改造等の主な事例

乗用車

消音器

- 内燃機関を原動機とする自動車には、騒音基準値等に適合する消音器を備えなければならない。(道路運送車両の保安基準第30条)

触媒装置

- 触媒等が取り外されていないこと。(道路運送車両の保安基準第31条)

サスペンション

- 切断等により、ばねの一部又は全部が除去されていないこと。(道路運送車両の保安基準第14条)

車幅灯

- 白色であること。(方向指示器、非常点滅表示灯又は側方灯と一体又は兼用のもの及び二輪車等については、橙色でもよい。)
※平成17年12月31日以前に製作された車両は、白色のほか、淡黄色又は橙色であっても、全ての車幅灯が同一色であればよい。(道路運送車両の保安基準第34条)

番号灯

- 白色であること。(道路運送車両の保安基準第36条)

後退灯

- 白色であること。(道路運送車両の保安基準第40条)

尾灯

- 赤色であること。(道路運送車両の保安基準第37条)

制動灯

- 赤色であること。(道路運送車両の保安基準第39条)

方向指示器

- 橙色であること。
○点滅回数が毎分60回以上、120回以下であること。(道路運送車両の保安基準第41条)

後部反射器

- 赤色であること。(道路運送車両の保安基準第38条)

基準外のウイング

- 側方への翼形状を有していないこと。
○確実に取り付けられていること。
○鋭い突起がないこと。
○その付近の最外側、最後端とならないこと。等(道路運送車両の保安基準第18条)

二輪車

消音器

- 内燃機関を原動機とする自動車には、騒音基準値等に適合する消音器を備えなければならない。(道路運送車両の保安基準第30条)

触媒装置

- 触媒等が取り外されていないこと。(道路運送車両の保安基準第31条)

乗用車・貨物車共通

シートベルトリマインダーの不正解除

- 運転席にシートベルトが装着されていない場合にその旨を運転者に警報する装置(シートベルトリマインダー)による警告表示等を、機具を用いて不正に解除すること。

前面ガラス、運転者席及び助手席の窓ガラス

- 指定以外のステッカー貼付は不可。
○前面ガラス等に装飾板を装着した状態又は運転席および助手席の窓ガラスに着色フィルム等を貼り付けた状態での可視光線透過率が70%未満のものは不可。(道路運送車両の保安基準第29条)

バックミラー

- 鋭利な突起がないこと。
○歩行者等に接触した場合に衝撃を緩衝できる構造であること。(道路運送車両の保安基準第18条、第44条)

警音器

- 音が自動的に断続するものは不可。
○音の大きさ又は音色が自動的に変化する又は運転席で容易に変化させることができるものは不可。(道路運送車両の保安基準第43条)

前部霧灯

- 白色又は淡黄色であること。○同時に3個以上点灯しないこと。(道路運送車両の保安基準第33条)

その他の灯火(ディライト)

- 赤色でないこと。○光度300cd以下であること。○点滅しないこと。(道路運送車両の保安基準第42条)

タイヤ

- 回転部分が突出する等他の交通の安全を妨げるおそれのあるものでないこと。(道路運送車両の保安基準第18条)

直前直左確認鏡

- 運転者席において、一定の基準の障害物を確認できる鏡等を備えなければならない。(道路運送車両の保安基準第44条)

不正な二次架装

- 新規検査受検後に燃料タンクの増設。
○容量が大幅に異なる燃料タンクへの変更。等(構造等変更検査の手続きが必要になります。)

速度抑制装置(スピードリミッター)

- 自動車が90キロメートル毎時を超えて走行しないよう燃料の供給を調整し、かつ、自動車の速度制御を円滑に行えるものであること。
○速度抑制装置を装着していることを示す黄色のステッカーが車室内の運転者の見やすい位置及び車両の後面に貼付されていること。(道路運送車両の保安基準第8条)



フルマのチェックを忘れずに!

貨物車

回転灯

- 緊急自動車等以外には赤色の回転灯は取付け不可。
○道路維持作業用自動車以外には黄色の回転灯は取付け不可。(道路運送車両の保安基準第42条)

ディーゼル車の原動機

- 黒煙汚染度は基準内であること。(道路運送車両の保安基準第31条)

巻き込み防止装置

- 普通貨物自動車には、巻き込み防止装置を備えなければならない。(道路運送車両の保安基準第18条の2)

ダンプ(土砂等運搬)

- 土砂等を運搬するダンプ車には、さし枠の取付けがないこと。
○荷台の一部を高くする等の改造がないこと。(道路運送車両の保安基準第27条)

突入防止装置

- 自動車の後面には、突入防止装置を備えること。(道路運送車両の保安基準第18条の2)

大型後部反射器

- 貨物普通自動車には、後部反射器を備えるほか、大型後部反射器を備えなければならない。(道路運送車両の保安基準第38条の2)



大丈夫ですか? あなたのフルマ



不正改造は犯罪です!